

Panasonic®

取扱説明書

7V型ワイドVGAモニター2DIN AVシステム
地上デジタルTV/DVD/CD内蔵 HDDカーナビステーション

* Strada

品番 CN-H500D



品番 CN-H500WD



ご使用前に、「安全上のご注意」(P.8～11)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、説明書とともに大切に保管してください。

HDD

VICS®

DVD
ROM/VIDEOCOMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXTSD
HC™DOLBY
DIGITALSRS
CS Auto DX

gracenote.

DIGITAL

DCC

Bluetooth®

Made for

iPod iPhone

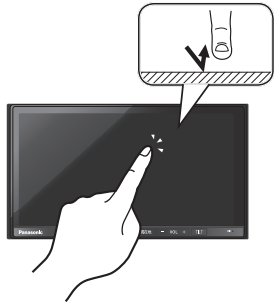
保証書別添付

タッチパネルの操作のしかた

静電容量式タッチパネルの特性上、画面の表示エリア以外の部分に触れても反応する場合があります。必ず表示エリア内で操作してください。

■タッチ(軽く触れる)

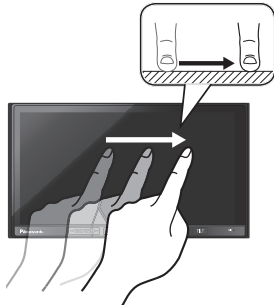
指で画面に軽く触れます。



- 本書で「○○を選ぶ」と記載している場合に、タッチ操作してください。
- 本書で「1秒以上タッチする」や「タッチし続ける」と記載している場合は、長くタッチ操作してください。

■ドラッグ(なぞる)

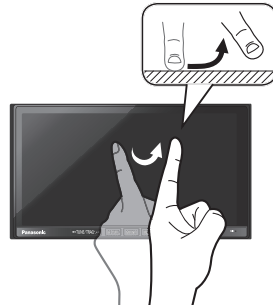
指で画面をタッチしたまま、なぞります。



- メニュー画面、地図画面、リスト画面でのみ操作できます。→下記、P.5

■フリック(はらう)

指で画面をはらいます。



- 地図画面、リスト画面でのみ操作できます。→P.5

地図画面(P.49)でのドラッグ/フリック操作

ドラッグすると…

●指の動きに合わせて、スクロールします。

例: 右にドラッグした場合

フリックすると…

●フリックした方向に地図がスクロールします。

例: 右にフリックした場合

矢印の方向に操作してください。

メニュー画面(P.30)でのドラッグ操作

左右にドラッグすると…

●左右のメニューが表示されます。

例: 右にドラッグした場合

上下にドラッグすると…

●上下のメニューに切り替わります。

例: 上にドラッグした場合

枠内で矢印の方向に操作してください。

リスト画面(P.183)*1でのドラッグ/フリック操作

ドラッグすると…

●1項目ずつスクロールします。

例: 上にドラッグした場合

フリックすると…

●前/次の音(おん)*2までスクロールします。

例: 上にフリックした場合

枠内で矢印の方向に操作してください。

お知らせ

- 各メニュー画面の表示のしかたについては、P.30をご覧ください。

*1 デジタルTV、SDビデオのリストでは、ドラッグ/フリックによるスクロールはできません。
*2 リストによって移動先は異なります。(P.183)

安全上のご注意 P.8

はじめに P.12

使用上のお願い 12
 各部のなまえとはたらき 14
 別売のリモコンについて 16
 準備する(確認・設定) 18
 取り付け・配線を確認する 22
 初期設定をする 24
 起動パスワードを設定する 27
 ディスクの出し入れ 28
 SDメモリーカードについて 28
 メニュー画面の操作 30
 現在地画面にタッチキーを表示する
 (ダイレクトランチャー) 33
 ランチャーメニューの操作 34
 本機の設定をアレンジする
 (ストラダチューン) 35

ナビゲーション P.38

地図の紹介 40
 地図の見かた 44
 地図の操作 49
 現在地メニュー・地点メニューの操作... 51
 地図の表示のしかたを変更する 52
 行き先までのルートを作るには 54
 行き先を探す 55
 ルートを探索する 63
 探索結果画面から設定・確認する 64
 ルートを変更する(ルートチューン) ... 66
 ルートを確認する 68
 もう一度ルートを探索する(再探索) ... 70
 ルート探索について 71
 ルート案内中に 75
 音声案内について 76
 地点を登録する(登録ポイント) 78
 迂回したいエリアを登録する
 (迂回メモリー) 81
 VICS情報を見る 82
 FM多重放送を見る 86
 広域避難場所を確認する 87
 ecoドライブ機能を使う 88

オーディオ P.90

オーディオの基本操作 92
 地上デジタルTVを見る 94
 HDD MUSICに録音する 103
 HDD MUSICを再生する 106
 DVDを再生する 118
 CD・MP3/WMAを再生する 122
 ラジオ(FM/AM)を聞く 124
 SDビデオ(SD-Video)を再生する ... 126
 SDオーディオ(SD-Audio)を再生する ... 127
 BLUETOOTH Audioを再生する 128
 iPodを再生する 131
 静止画(PHOTO)を再生する 133
 現在地画面に
 オーディオ映像を表示する 136

BLUETOOTH P.137

BLUETOOTH対応機器と
 組み合わせる 138
 携帯電話を本機に登録する 140
 ハンズフリーで通話する 142
 データ通信サービスを利用する 150

その他 P.153

■別売品
 別売品と組み合わせて使う 154
 ダウンロードキーの出力 157

■設定
 利用に応じた設定に変える
 (各種設定) 158
 映像の設定を変える 166

■故障かな!?
 よくあるお問い合わせ 167
 故障かな!? 168
 本機が正常に動作しないとき 182


■必要なとき
 リストの操作のしかた 183
 文字入力のしかた 184
 お手入れ 185
 ディスクの取り扱い 185
 再生できるディスクについて 186
 データ作成時の留意点 187
 CD録音時の制限について 190
 iPodについて 190
 Gracenote音楽認識サービス
 について 191
 BLUETOOTHについて 192
 ナビゲーションシステムとは 193
 VICSについて 196
 地図データベースについて 198
 主要施設一覧表 202
 ジャンル一覧表 202
 DVD言語コード一覧表 205
 さくいん(50音順) 206
 商標などについて 209
 仕様 210
 保証とアフターサービス 212

安全上のご注意
 はじめに
 ナビゲーション
 オーディオ
 BLUETOOTH
 別売品
 そ
 の
 設定
 故障かな!?
 他
 必要なとき

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告

 **本機はDC12 V \ominus アース車専用です**
DC24 V車には使用できません。火災や故障の原因になります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順通りに正しく行ってください。火災や故障の原因になります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因になります。

作業前に、必ずバッテリーの \ominus 端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因になります。

サイドブレーキコードを正しく配線する
安全機能が働かず、交通事故の原因になります。


コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因になります。

作業後は、車の電装品^{*}の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因になります。
^{*}ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

フィルムアンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける
視界不良による事故の原因になります。

取り付けや配線をするとき


警告

 **視界や運転を妨げる場所^{*}、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない**
交通事故やけがの原因になります。
^{*}ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。


取り付けやアース配線に、車の保安部品^{*}を使わない
制御不能や発火、交通事故の原因になります。
^{*}ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

 **分解や改造をしない**
特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因になります。

分解禁止

注意

 **必ず、付属品や指定の部品を使用する**
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因になります。

車外に取り付けたGPSアンテナのコードは、水^{*}が浸入しないように車内へ引き込む
火災や感電の原因になります。
^{*}雨や洗車の水など

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

ナビゲーションユニットやGPSアンテナなどは、しっかり取り付ける
取り付け場所の汚れ・ワックスなどをふき取り、確実に固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどは接着力が弱いいため、ときどき取り付け状態(接着やねじのゆるみなど)を点検してください。交通事故やけがの原因になります。

取り付けや配線をするとき

 **注意**



高温になる場所*に取り付けない

火災や故障の原因になります。

*直射日光やヒーターの熱風などが直接あたるところ

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因になります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回す。
- ドライバーなどの先で押し込まない。

振動や傾きのある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがの原因になります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因になります。

本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

ご使用になるとき

 **警告**



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因になります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する

火災や発煙、発火、故障の原因になります。

*最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω。

医用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医用電子機器をご使用になる場合は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因になります。

ご使用になるとき

 **警告**



故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因になります。

カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。



雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

 **注意**



洗車時は、車外のGPSアンテナを外す

特に、自動洗車機(高圧水)による洗車時は、必ず外してください。脱落による事故の原因になります。



本機を車載用以外には、使用しない

発煙や発火、感電、けがの原因になります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

特に、モニター画面の開閉や角度調整の際にご注意ください。けがの原因になります。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因になります。

開いたモニターの上に物を置かない

液晶ディスプレイ部の破損、または飲み物がこぼれることによる発煙や発火、感電、故障の原因になります。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

エンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて、長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください。

他の機器と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、雑音が出ることがあります。その場合は、本機から離してください。

液晶ディスプレイについて

- 先端が固いもの（ボールペン、ピン、爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因になります。
- 液晶の保護シートを使用する場合は、必ず別売の低反射シート(CA-ZND060D)を使用してください。他の保護シートを使用すると、正常に動作しないおそれがあります。
- 別売の低反射シート(CA-ZND060D)を使用している場合、タッチパネルの感度が低下するため、タッチパネル感度設定(P.165)で感度を調整してください。
- タッチ操作中に指以外の部分がタッチパネルに近づくと、触れていなくてもその部分が反応する場合があります。
- ぬれた手や手袋をつけた手で操作しないでください。正常に動作しない場合があります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 本機を使用しないときは、直射日光が当たらないようにしてください。(車用のサンシェードなどをお使いください。)
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。(使用可能温度: 0℃~40℃)
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、保護のため画面の明るさを自動調整することがあります。

アプローチセンサーについて

- 強い日差しやヘッドライトなどの強力な光にアプローチセンサーが反応する場合があります。使用状況により頻繁に反応する場合は、ランチャーメニュー表示を「ボタン」に設定してください。(P.165)

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録ポイントの位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- メールなどの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

大切な情報(登録ポイントなど)は、万々に備えて、SDメモリーカードに保存したり、メモなどをとっておくことをおすすめします。

著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することにも禁じられています。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどの場合は、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

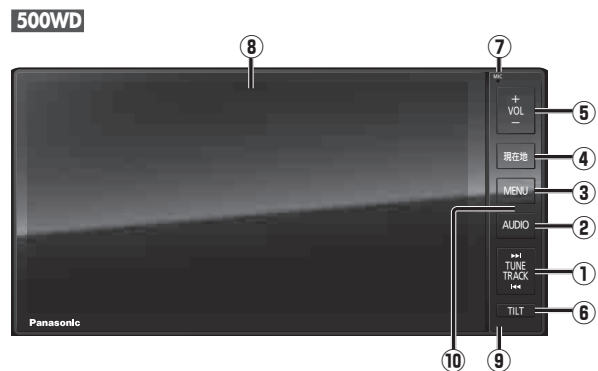
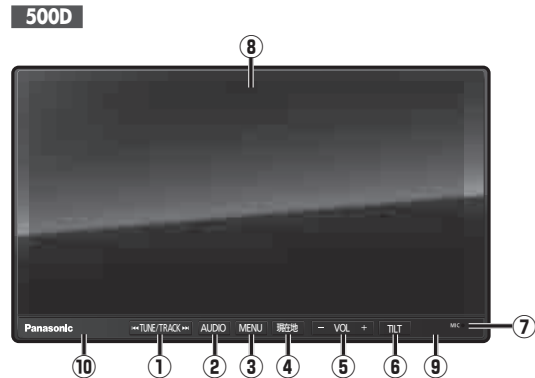
地上デジタル放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などを近づけると、映像や音声などに不具合が生じる場合があります。本機から離してご使用ください。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 国外で有料放送サービスを受受することは、禁止されています。
- 本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機には、録画できません。

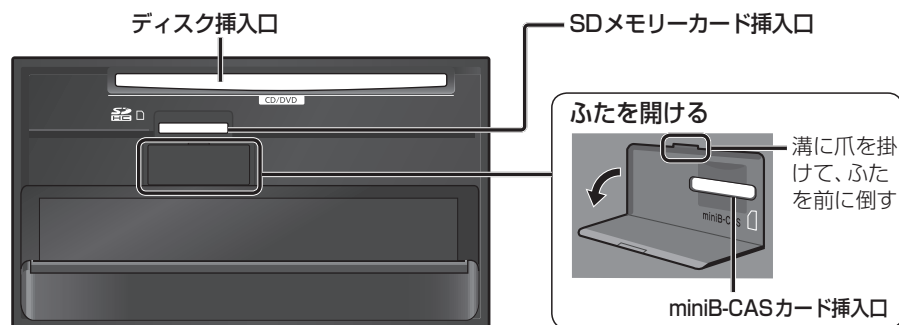
miniB-CASカードの取り扱いについて

- 使用許諾契約約款をよくお読みのうえ、カードを正しく入れ、次のことをお守りください。
 - ・折り曲げたり、変形させない。
 - ・重いものを置いたり踏みつけたりしない。
 - ・水をかけたり、ぬれた手で触らない。
 - ・IC(集積回路)部には手を触れない。
 - ・分解加工はしない。
 - ・高温になるところにカードを放置しない。(ダッシュボードの上など)

B-CASカードについてのお問い合わせは
(株)ピーエス・コンディショナルアクセス
システムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250



モニター開



<p>① TUNE/TRACK</p> <p>HDD MUSIC DVD CD SDビデオ MP3/WMA iPod BLUETOOTH Audio</p> <p>⏪ ⏩ 頭出し ⏪ ⏩ ⌚ 早送り・早戻し</p> <p>SD-Audio ⏪ ⏩ 頭出し</p> <p>FM/AM ⏪ ⏩ 選局する ⏪ ⏩ ⌚ オートプリセット</p> <p>デジタルTV ⏪ ⏩ 選局する ⏩ ⌚ おでかけ初期スキャン ⏪ ⌚ おでかけ再スキャン</p>	<p>⑨ アプローチセンサー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手を近づけると、地図画面ではタッチキー*1、メニュー画面ではメニューガイドを表示 *1 ランチャーメニュー表示設定が「センサー」のときのみ ・下図の範囲内に手を近づけてください。 <p>500D</p> <p>正面図 側面図</p> <p>500WD</p> <p>正面図 側面図</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アプローチセンサーを手で隠さないでください。近すぎると、アプローチセンサーが反応しない場合があります。
<p>② オーディオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オーディオ画面に切替 ●オーディオ選択タッチキーを表示 ⌚ オーディオOFF 	<p>⑩ リモコン受信部</p> <ul style="list-style-type: none"> ●別売のリモコンの信号を受信 ・下図の範囲内でご使用ください。 <p>500D</p> <p>正面図 側面図</p> <p>500WD</p> <p>正面図 側面図</p>
<p>③ MENU</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ツートップメニューを表示 	
<p>④ 現在地</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自車位置(現在地)を表示 	
<p>⑤ ボリューム</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オーディオの音量を調整 	
<p>⑥ チルト</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チルト/イジェクト画面の表示/消去 ●モニターを閉じる 	
<p>⑦ MIC</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ハンズフリー通話時に使用 	
<p>⑧ タッチパネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タッチ操作時に使用 ・タッチパネルの感度を調整するには →P.165 	

はじめに 各部のなまえとはたらき

準備する(確認・設定)

電源を入れる

- 1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)
 - 本機の電源が入ります。
 - 本体ボタンのイルミネーションが点灯します。(イルミネーション色を変更するには→P.165)
 - パスワード認証画面が表示されたときは→P.27

2 警告画面の注意事項を確認して、確認を選ぶ



- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
 - ・オーディオ画面が表示されたときは、**現在地**を押すと、ナビゲーション画面(現在地)に切り換わります。
- 約10秒間操作しないと、警告画面は消去されます。
- 別売のETC車載器(CY-ET909KDなど)やDSRC車載器(CY-DSR110D)を接続すると、ETCカードの有効期限が近いまたは有効期限切れの場合、音声と画面表示でお知らせします。(P.155)

お願い

- 現在地画面が表示されるまで、車を発進させないでください。(システムの起動準備のため)

画面をOFFにする

ツートップメニュー(P.31)から画面OFFを選ぶ

- 画面OFF設定(P.165)により、動作が変わります。
- 下記の場合、画面OFFが解除されます。
 - ・デジタルTVの緊急警報放送(EWS)を受信したとき
 - ・ハンズフリー接続時に電話がかかってきたとき

画面を表示するには

AUDIO **MENU** **現在地** のいずれかを押す

自車位置を確認する

初めて電源を入れたときやバッテリーを外したときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図(現在地画面)が表示されます。見晴らしの良い場所で下記の操作を行ってください。

1 GPSマーク(GPS)を確認する



- GPSマークが表示されないときや、点滅が継続するときは、GPS情報(P.22)から受信状態を確認してください。

2 現在地を押す

3 見晴らしの良い道路を、そのまましばらく走行する(60分以上)

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

音量を調整する

ナビゲーションの音量を調整する

- 1 設定メニュー(P.31)からナビ案内音量を選ぶ
- 2 <>で音量を調整し、完了を選ぶ
 - 調整範囲：0~40(お買い上げ時の設定:20)
 - 試聴：音量の確認

高速走行時の自動音量切換を設定する

する/しないを選び、完了を選ぶ

- する**：時速80 km以上で走行時に、ナビゲーションの音声案内を自動で5ステップ大きくします。(お買い上げ時の設定)
 - ・音量設定が「0」のときは、音量は大きくありません。
- しない**：高速走行時の自動音量切換を解除します。

お知らせ

- 音声案内を出力するスピーカーを設定するには→P.26
- ナビ案内音量は、本体ボタンの**+** **-**では調整できません。

オーディオの音量を調整する

+ **-**を押す



- +**を押す続けると、1ステップ単位で連続して音量が大きくなります。
- を押す続けると、3ステップ単位で連続して音量が小さくなります。
 - ・ハンズフリーの音量のみ、1ステップ単位で小さくなります。

お知らせ

- デジタルTV、DVD、ハンズフリー(通話音、発着信音)の音量は、他のオーディオとは別にそれぞれ記憶されます。
- SDビデオの音量は、デジタルTVと同じになります。

一時的に消音するには(ミュート)

ステアリングスイッチ設定(P.24)でミュート機能を設定した場合、音量を一時的に消音できます。

準備

- ステアリングスイッチ設定をしてください。(P.24)

MUTEを割りあてたステアリングスイッチを押す

- 「MUTE」と表示され、消音されます。
- もう一度押すと解除します。
- ハンズフリーの音声(通話音、発着信音)はミュートされません。

お知らせ

- 本体ボタン/タッチキー操作では、ミュートできません。

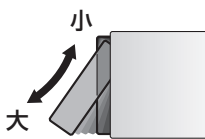
モニターの角度を調整する(TILT)

1 [TILT] を押す

- チルト/イジェクト画面が表示されます。



2 CLOSE、小～大を選んで調整する



- CLOSE: 全閉状態になります。

3 [TILT] を押す

- [AUDIO] [MENU] [現在地] のいずれかを押しても調整を終了します。

お願い

- モニターを無理に動かしたり、動作を妨げないでください。また、モニターに強い衝撃を与えないでください。(荷物の出し入れ時など)
- モニター開閉時に手や指をはさまないように気を付けてください。
- モニターの角度を傾けると、モニターと本体のすき間からディスク挿入口が見える場合がありますが、必ずモニターを開いてからディスクを入れてください。本機が故障したりディスクに傷がつく原因になります。

お知らせ

- エンジンを切ると、全閉状態に戻ります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。(P.159、166)

モーターアンテナを操作する

モーターアンテナ車の場合、本機でモーターアンテナの操作ができます。

準備

- ラジオアンテナ設定を「モーターアンテナ」にしてください。(P.25)

ツートップメニュー(P.31)から上げる(下げる)を選ぶ



- FM VICS・FM多重放送・ラジオを受信するために、通常はモーターアンテナを上げてください。
- 立体駐車場などの天井の低い場所に入るときには、アンテナを下げてください。
- 電源を切ってもモーターアンテナの状態は記憶されます。アンテナを上げた状態で電源を切ると、アンテナはいったん収納され、次回起動時に自動的に上がります。

miniB-CASカードについて

地上デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

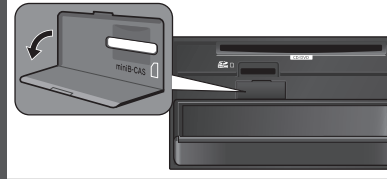
- 付属のminiB-CASカードの説明書および「使用許諾契約約款」をよくお読みください。
- 「miniB-CASカードの取り扱いについて」もご覧ください。(P.13)
- 地上デジタル放送を視聴するには、付属のminiB-CASカードを本機に入れてください。
- miniB-CASカード裏面のカードID(B-CASカード番号)は、お問い合わせの際に必要な場合がありますので、メモしておいてください。(P.101「B-CASカード」でも確認できます)

miniB-CASカードを入れる

1 [TILT] を押し、[OPEN] を選ぶ

- モニターが開きます。

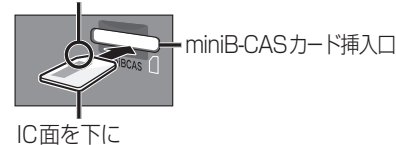
2 ふたを開ける



3 車のエンジンを切る
(ACCをOFFにする)

4 miniB-CASカードを
まっすぐに奥まで入れる

角がカットされた側を左に



- miniB-CASカード以外入れないでください。故障や破損の原因となります。
- 使用中は、抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

5 ふたを閉める

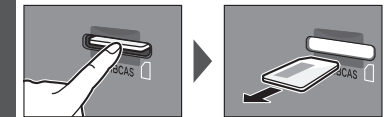
6 車のエンジンをかける
(ACCをONにする)

- [TILT] を押して、モニターを開めてください。

miniB-CASカードを取り出す

1 左記「miniB-CASカードを入れる」
の手順1～3と同じ操作で、
エンジンを切った状態にする

2 miniB-CASカードの中央部を押す



- ふたを閉めて車のエンジンをかけた後に、[TILT] を押してモニターを開めてください。

お願い

- miniB-CASカードにはICが組み込まれています。
 - ・画面にメッセージが表示されたとき以外は、電源が入った状態で抜き差ししないでください。
 - ・電源が入った状態で抜き差ししたときは、3秒以上たってから、「B-CASカードテスト」(P.101)を行ってください。

取り付け・配線を確認する

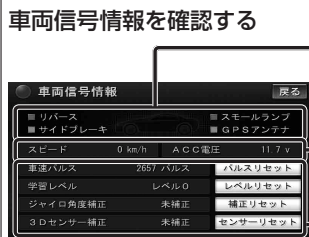
- 1 情報メニュー(P.31)からシステム情報**を選ぶ
- システム情報画面が表示されます。



- 2 各項目を設定する**
→右記

車両信号情報
取り付け/配線の状態を確認します。

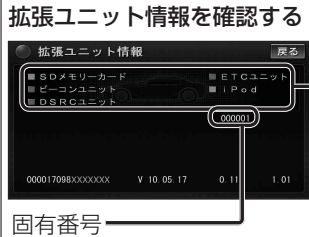
- 詳しくは取付説明書をご覧ください。



リバース	シフトレバーをR(リバース)に入れると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプが点灯すると、ON表示に変わりますか？
GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	約12V(11V~16V)になっていますか？
車速パルス	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル0」になります。走行後、数字が変化していますか？(レベル4が最大)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後*1、「補正完」になっていますか？
3Dセンサー補正	リセットすると「未補正」になります。走行後*1、「補正完」になっていますか？

拡張ユニット情報
拡張ユニットの取り付け/配線の状態を確認します。

- 詳しくは取付説明書をご覧ください。



*1あらかじめ自転車位置が正しく補正されている必要があります。(P.18)

お知らせ

- 次の場合にも、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」をリセットしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかります。学習内容に誤差が出る場合があります。
- 車種によっては、スピードをあげると自転車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

システム情報
GPS情報
見晴らしの良い場所で、受信状態を確認してください。

- 3つ以上の衛星番号が受信中になっていることと、緯度・経度が表示されていることを確認してください。



お願い

- 常に受信中になっていない場合は、GPSアンテナの接続および取付位置を確認してください。(取付説明書)

SDメモリーカード	別売のSDメモリーカードを入れると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット	別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
DSRCユニット	別売のDSRC車載器(CY-DSR110D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
ETCユニット	別売のETC車載器(CY-ET909KDなど)を接続している場合、ON表示になっていますか？
iPod	市販のiPodを接続すると、ON表示に変わりますか？

HDD情報表示
HDDの空き領域などを知りたいときに確認してください。



- ユーザー領域：ハードディスクのユーザー領域[曲を保存(録音)できる領域]の総容量を表示します。
- 使用領域：曲の保存(録音)に使用した領域の容量を表示します。
- 空き領域：曲の保存(録音)に使用していない領域の容量を表示します。
・空き領域が少ないときは、不要な曲を消去してください。(P.111)
- 地図データ：使用している地図データのバージョンを表示します。
- Gracenoteデータベース Ver.： 本機に収録されているGracenote®データベースのバージョンを表示します。
- Gracenoteデータベース 更新Ver.：更新したGracenoteデータベースのバージョンを表示します。

自転車位置変更
自転車がある地点と地図上の自転車位置が異なるときに調整してください。


- 通常、この操作は必要ありません。



☺☹で自転車マークを進行方向に合わせて、「決定」を選ぶ




初期設定をする

- 1 設定メニュー(P.31)から初期設定を選ぶ**
- 初期設定画面が表示されます。
- 
- : ページ切換
 - : ヒントモード(P.158)にする
- 2 各項目を設定する**
→右記、P.26

初期設定 1

<p>自宅登録</p> <p>自宅を登録すると、現在地から自宅までのルートを簡単に作れます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すでに自宅が登録されている場合、今までの自宅は登録ポイントから消去されます。 ●自宅の変更は、登録ポイント修正画面(P.79)から行ってください。 ●登録した自宅は、 で表示されます。 	<p>登録する を選ぶ</p>	<p>現在地周辺の地図から登録するには</p>	<p>現在地周辺から登録 を選ぶ</p>	<p>位置を調整し、決定を選ぶ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●自宅の場所がポイント登録されます。 ●自宅を解除するには→P.79
<p>取付角度</p> <p>取付角度を設定すると、SALAS(P.194)による立体駐車場での自車位置精度が向上します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●システム情報画面(P.22)から取付角度設定を選んででも設定できます。 	<p>設定する を選ぶ</p>	<p><>で取付角度を設定する(お買い上げ時の設定:未設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●調整範囲:0° ~ +40°(5°ステップ) <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●車体が水平になる場所で、付属の取付ゲージをナビゲーションユニットにあてて、取付角度を測ってください。(詳しくは取付説明書をご覧ください。) 		<p>完了 を選ぶ</p>
<p>車両情報</p> <p>車両情報を設定すると、車両情報をVICS情報と参照し、交通情報をもとにしたルート作成に役立っています。</p> <p>また、高速道路や有料道路の料金表示*1などに反映させたり、提携駐車場検索(P.62)の際に、条件に合った駐車場の検索に役立っています。</p> <p>お願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●モーターアンテナ車は、ラジオアンテナ設定を必ず「モーターアンテナ」にしてください。「固定アンテナ/手動アンテナ」に設定すると、アンテナが上がったままとなり、立体駐車場など天井の低い場所に入るときにアンテナを破損する原因になります。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ルートが設定されている(ルート案内中止時を含む)と、車両情報を設定できません。ルートを消去してください。(P.54) 	<p>設定する を選ぶ</p>	<p>車種</p> <p>設定する を選ぶ</p> <p>車種を設定する(お買い上げ時の設定: 小型車両)</p> <p>車種 ナンバープレート</p> <p>軽自動車: [4*][5*][4**][5**](黄色)</p> <p>小型車両: [4*][5*][6*][7*][4**][5**][6**][7**]</p> <p>普通車両: [3*][3**]</p> <p>大型車両: [1*][1**]</p> <p>特定車両: 小型車・普通車の「8*」「8**」</p> <p>大型特定: 大型車の「8*」「8**」</p>	<p>完了 を選ぶ</p>	
		<p>長さ・幅・高さ</p>	<p><>で選んで設定する[お買い上げ時の設定: --- (未設定)]</p>	<p>完了 を選ぶ</p>
		<p>ラジオアンテナ</p>	<p>設定する を選ぶ</p> <p>固定アンテナ/手動アンテナ/モーターアンテナを選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●固定アンテナ/手動アンテナ: モーターアンテナ車以外の場合に設定(お買い上げ時の設定) ●モーターアンテナ: モーターアンテナ車の場合に設定 	<p>完了 を選ぶ</p>
<p>昼夜切換</p> <p>昼画面/夜画面の切換を、車のスモールランプに連動させるか、時刻に連動させるかを設定します。</p>		<p>スモールランプ/時刻を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スモールランプ: 車のスモールランプを点灯すると夜画面、消灯すると昼画面に切り換わります。(お買い上げ時の設定) ●時刻: 日中は昼画面、夜間は夜画面に切り換わります。切り換わる時刻は、月によって異なります。 		<p>完了 を選ぶ</p>
<p>ステアリングスイッチ設定</p> <p>ステアリングスイッチコード接続時は、車のステアリングスイッチに本機の機能を割りあてることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●車種によってはスイッチに割りあてられない場合があります。詳しくは下記サイトをご覧ください。 http://panasonic.jp/car/ ●ひとつのスイッチに複数の機能を割りあててはできません。 	<p>設定する を選ぶ</p>	<p>機能を選ぶ(お買い上げ時の設定:未設定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●VOL UP: の機能を割りあてる ●VOL DOWN: の機能を割りあてる ●TRACK UP: の機能を割りあてる ●TRACK DOWN: の機能を割りあてる ●MUTE: 一時的に消音する(P.19) ●SOURCE: オーディオ種類を切り換える(P.93) ●設定解除: 設定を全て解除する <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●機能を選んでいる間は、ステアリングスイッチで本機の操作はできません。 		<p>車のステアリングスイッチでの操作機能を割りあてたいスイッチを1秒以上押す</p>

*1 車種によっては、正しく料金が表示されない場合があります。

<p>カメラスケール表示*1 リヤビューカメラ画面に、カメラスケール(車幅や距離感の目安)を表示する/しないを設定します。</p> <p>●お買い上げ時の設定：調整</p> <p>準備</p> <p>●サイドブレーキをしっかりと引いてください。</p>	<p>調整/非表示を選ぶ</p> <p>(調整を選んだ場合) シフトレバーをリバース(R)に入れ、カメラスケールを調整する</p>  <p>完了を選ぶ</p> <p>角度運動 片側のカメラスケールを調整すると、もう一方も連動して調整する。</p> <p>初期状態 お買い上げ時の設定に戻す。</p> <p>左角度 左側のカメラスケールの角度を調整する。</p> <p>右角度 右側のカメラスケールの角度を調整する。</p> <p>中心 カメラスケールの中心を調整する。</p> <p>幅 カメラスケールの幅を調整する。</p>								
<p>カメラ割込み*1 車のシフトレバーをリバース(R)に入れたときにカメラの映像を表示する/しないを設定します。</p>	<p>する/しないを選ぶ (お買い上げ時の設定：しない)</p> <p>完了を選ぶ</p>								
<p>カメラ画質調整*1 リヤビューカメラ画面の画質を調整します。</p> <p>準備</p> <p>●サイドブレーキをしっかりと引いてください。</p>	<p>調整するを選ぶ</p> <p>シフトレバーをリバース(R)に入れ、「明るさ」「コントラスト」「色あい」「色の濃さ」を調整する</p> <p>●調整範囲：-15～±0～+15 (お買い上げ時の設定：±0)</p>								
<p>スピーカー選択</p>	<p>選択するを選ぶ</p> <p>スピーカーを選択する</p> <p>●説明：説明を表示</p> <table border="1" data-bbox="560 1037 918 1228"> <tr> <td>フロント</td> <td>16cm以上(大型スピーカー) 16cm未満(小型スピーカー)</td> </tr> <tr> <td>リヤ</td> <td>16cm以上(大型スピーカー) 16cm未満(小型スピーカー)</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>サブウーファー</td> <td>あり なし</td> </tr> </table> <p>(太字：お買い上げ時の設定)</p>	フロント	16cm以上(大型スピーカー) 16cm未満(小型スピーカー)	リヤ	16cm以上(大型スピーカー) 16cm未満(小型スピーカー)	なし	なし	サブウーファー	あり なし
フロント	16cm以上(大型スピーカー) 16cm未満(小型スピーカー)								
リヤ	16cm以上(大型スピーカー) 16cm未満(小型スピーカー)								
なし	なし								
サブウーファー	あり なし								
<p>案内出力スピーカー ナビゲーションの音声案内を出力するスピーカーを設定します。</p>	<p>設定するを選ぶ</p> <p>右前 / 右前+左前 / 左前のいずれかを選ぶ (お買い上げ時の設定：右前+左前)</p> <p>●試聴：出力するスピーカーの確認</p> <p>完了を選ぶ</p>								

*1 別売のリヤビューカメラ(CY-RC70KD)を接続している場合に設定してください。

万一本機が盗難にあった場合でも、起動パスワードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報情報の漏洩を防ぐことができます。

パスワードを忘れた場合、本機を使用できなくなります。お近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

- 文字入力のしかた→P.184
- 入力できる文字数は、全角12文字(半角24文字)まで。

設定する

- 未走行の場合はパスワードを設定できません。
- パスワードは、忘れないようにメモしておいてください。(右記)

- 設定メニュー(P.31)から**システム設定**を選ぶ
- 次**を選ぶ
- 起動パスワードの**設定する**を選ぶ
●起動パスワード設定画面が表示されます。
- 設定**を選ぶ
- (すでに起動パスワードが設定されている場合のみ)
 - はい**を選ぶ
 - 現在のパスワードを入力し、**完了**を選ぶ
- パスワードを設定する
マルチワードで設定する場合
ヒントおよびパスワードの両方を自由に設定できます。
 - マルチワードで設定**を選ぶ
 - ヒントを入力し、**完了**を選ぶ
 - パスワードを入力し、**完了**を選ぶ

固定文より設定する場合
固定文からヒントを選び、パスワードを自由に設定できます。

 - 固定文より設定**を選ぶ
 - リストからヒントを選ぶ
 - パスワードを入力し、**完了**を選ぶ
- パスワードのヒントとパスワードを確認し、**完了**を選ぶ

解除する

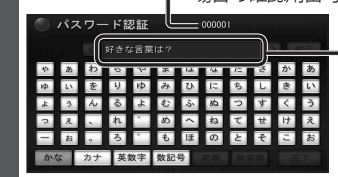
他人に譲渡する場合などは、起動パスワードの設定を解除してください。

- 起動パスワード設定画面(左記)から**解除**を選ぶ
- はい**を選ぶ
- パスワードを入力し、**完了**を選ぶ

本機を起動時にパスワード認証画面が表示されたら

バッテリー交換時など、バッテリーコードが外された後に本機を起動した場合のみ、パスワード認証画面(下記)が表示されます。パスワードを入力してください。

- ヒントを確認する
固有番号
・万一、本機が盗難にあった場合の確認用番号です。



ヒント

- パスワードを入力し、**完了**を選ぶ
- 確認**を選ぶ
●ロックが解除され、本機が起動します。

■ 起動パスワードメモ
下記のメモ欄をコピーし、起動パスワードをメモして大切に保管してください。

パスワード

はじめに 初期設定をする / 起動パスワードを設定する

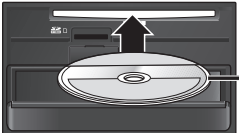
ディスクの出し入れ

ディスクを入れる

- 1 **TILT** を押す
●チルト/イジェクト画面が表示されます。

- 2 **DISC IN / DISC EJECT** を選ぶ

●モニターが開きます。
●ディスクが入っている場合は、**DISC IN / DISC EJECT** と表示され、選ぶとディスクが排出されます。

- 3 **ディスクを入れる**

ラベル面を上
●モニターが自動的に閉まり、再生を開始します。
DVD → P.118
C D [MP3/WMA] → P.122

ディスクを取り出す

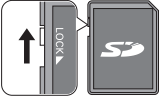
- 1 **DISC IN / DISC EJECT** を選ぶ
●モニターが開き、ディスクが排出されます。

- 2 **ディスクを取り出す**

●**TILT** を押して、モニターを閉じてください。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードの取り扱い

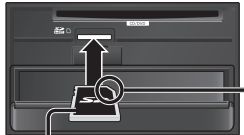
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードでデータを読み書きしているときに、SDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカードのデータ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いません。
- 下記のことをお守りください。
 - ・本機から取り出したら、必ずケースに収納する
 - ・裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
 - ・貼られているラベルをはがさない
 - ・シールやラベルを重ねて貼り付けない
 - ・強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水にぬらすなどしない

■使用できるSDメモリーカード
本機はSD規格に準拠した下記のSDメモリーカードに対応しています。下記以外のSDメモリーカードは使用できません。

カードの種類
SDHCメモリーカード(4 GB~32 GB)
●microSDHCカードも使用できます。
●SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。
●対応した機器でのみ使用できます。
SDメモリーカード(8 MB~2 GB)
●miniSDカード/microSDカードも使用できます。

- お願い**
- miniSDカード/microSDカード/microSDHCカードを使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

SDメモリーカードを入れる

- 1 **チルト/イジェクト画面(P.28)**から **OPEN** を選ぶ
●モニターが開きます。
- 2 **SDメモリーカードをまっすぐに奥まで入れる**

ラベル面を上
角がカットされた側を右に
●自動的にモニターが閉まります。
●モニターが完全に開いてから、SDメモリーカードを入れてください。
●モニターが閉まらない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。

地図画面表示中にSDメモリーカードを入れた場合
SDメモリーカードを使ってできる機能が表示されます。

使いたい項目を選ぶ

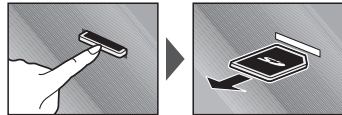


- おでかけスポット**: おでかけスポットのリストを表示(P.59)
- おでかけプラン**: おでかけプランのリストを表示(P.59)
- データ読み込み/保存**: SDメモリーカード読み込み/保存画面を表示(P.80、105、115、116、133、157)
- 静止画を見る**: SDメモリーカードファイル画面を表示(P.133)
- SD-Audioを聴く**: SD-Audioに切替(P.127)
- SD-Videoを観る**: SDビデオの再生リストを表示(P.126)

- お知らせ**
- 何もしない場合は**戻る**を選んでください。

SDメモリーカードを取り出す

SDメモリーカードの中央部を押す



- TILT** を押して、モニターを閉じてください。

SDメモリーカードを初期化する

本機以外の機器でSDメモリーカードを初期化すると、本機で使用できないことがあります。そのときは、本機で初期化してから使用してください。
●初期化により消去したデータはもとに戻せません。初期化は十分確認のうえ行ってください。

- 1 **データメニュー(P.31)**から **データ消去** を選ぶ
- 2 **SDメモリーカード初期化** を選ぶ
- 3 **はい** を選ぶ

はじめに

ディスクの出し入れ / SDメモリーカードについて

メニュー画面の操作

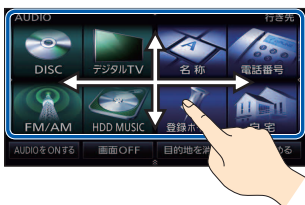
メニュー画面を表示する

1 MENU を押す



- ツートップメニューが表示されます。
- 続けて、他のメニューを表示したい場合 → 手順2へ

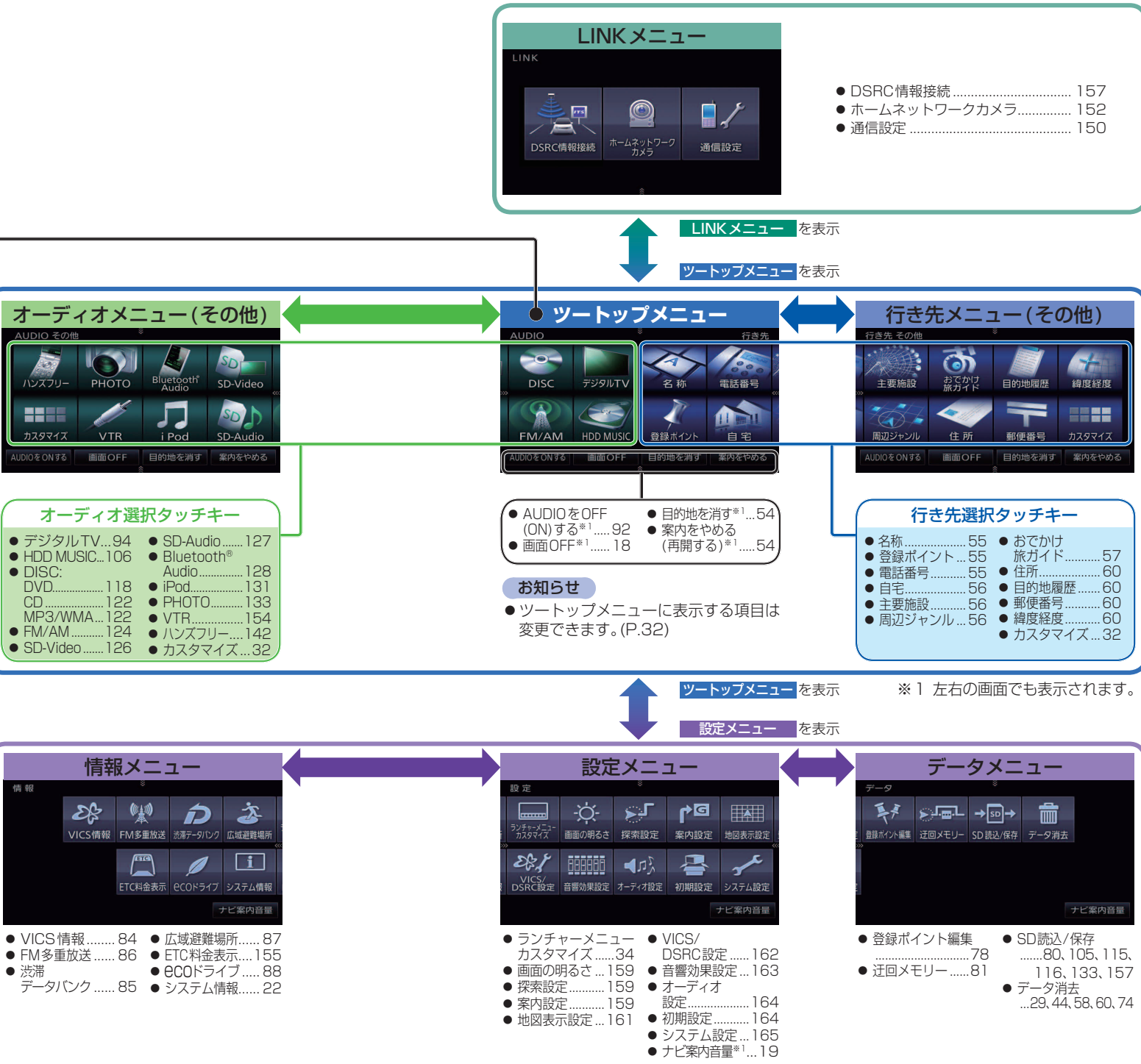
2 ドラッグする



- 左右にドラッグすると、左右のメニューが表示されます。上下にドラッグすると、上下のメニューに切り換わります。(右記)
- アプローチセンサー (P.15) に手を近づけると、切り換えできるメニューの方向が表示されます。(メニューガイド)



- リモコンで他のメニューに切り換えるには、ジョイスティックを上下左右に動かして、カーソルを表示したいメニューのある方向へ移動させてください。



はこめり
メニュー画面の操作

ツートップメニューの項目を変更する

ツートップメニューに表示する項目をお好みで設定できます。

行き先選択タッチキーを変更する

1 行き先メニュー(その他)から
カスタマイズを選ぶ

2 **設定開始**を選ぶ

3 よく使う項目を4つ選ぶ



●再度選ぶと、解除されます。

4 **設定する**を選ぶ

オーディオ選択タッチキーを変更する

1 オーディオメニュー(その他)から
カスタマイズを選ぶ

2 **設定開始**を選ぶ

3 よく使う項目を4つ選ぶ



●再度選ぶと、解除されます。

4 **設定する**を選ぶ

お知らせ

●選んだ項目の順番は、上から下へ、中央から外側へ並びます。



●選択しなかった項目はそれぞれ行き先メニュー(その他)、オーディオメニュー(その他)に表示されます。

現在地画面にタッチキーを表示する(ダイレクトランチャー)

アプローチセンサー(P.15)に
手を近づける



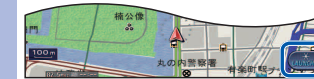
- タッチキー(下記)が表示されます。
- 消去するには手を画面から離してください。(約3秒で消去されます。)
- 手動で表示したい場合は

手動でタッチキーを表示する

準備

- ランチャーメニュー表示設定を「ボタン」にしてください。(P.165)

LAUNCHER を選ぶ



- タッチキー(下記)が表示されます。



終了 (ランチャーメニュー表示設定が「ボタン」のときのみ)
元の画面に戻ります。

現在地メニュー
現在地メニューを表示します。(P.51)

広域/詳細
広域 地図の縮尺を切り換えます。(P.50)
詳細

ビュー
地図表示変更メニューを表示します。(P.52)

ランチャーメニュー
地図画面から直接、機能の呼び出しや設定変更ができます。
よく使う機能呼び出せます。(P.34)

本機の設定をアレンジできます。(P.35)

- スクロール(P.49)すると、ランチャーメニューは消去されます。再度表示させるには、アプローチセンサー(P.15)に手を近づける、もしくは**LAUNCHER**を選ぶてください。

はじめに
メニュー画面の操作 / 現在地画面にタッチキーを表示する(ダイレクトランチャー)

ランチャーメニューの操作

ランチャーメニューによく使う機能を設定しておく、地図画面から直接機能呼び出せます。

- 準備**
- 地図上にタッチキーを表示してください。(P.33)

ランチャーメニューから使いたい機能(下記)を選ぶ



- ランチャーメニューの項目(★TUNE)は除くは好みで変更できます。(右記)

ランチャーメニューの項目を変更する

- 1 設定メニュー(P.31)から
ランチャーメニューカスタマイズを選ぶ

- 2 変更したいタッチキーを選ぶ



- ★TUNE は変更できません。

- 3 割りあてたい機能(下記)を選ぶ



ランチャーメニュー機能一覧

項目	機能
地図切換	1画面2D/3D 地図を平面/立体の1画面表示に切換(P.52) 2画面2D/3D 地図を左画面が平面/立体の2画面表示に切換(P.52) 右画面2D/3D 地図を右画面が平面/立体の2画面表示に切換(P.52)*1
地点関連	ポイント登録 地点を登録ポイントとして登録(P.78) 方向付きポイント登録 地点を方向付き登録ポイントとして登録(P.79)*2 音声付きポイント登録 地点を音声付き登録ポイントとして登録(P.79) 登録ポイント 登録ポイントから行き先を探索(P.55) おでかけ旅ガイド おでかけスポット/プランから行き先を探索(P.59)
ルート案内	案内音量+ ナビ案内音量を大きくする(P.19)*3 案内音量- ナビ案内音量を小さくする(P.19)*3 案内再開/中止 ルート案内を再開/中止(P.54) ルート確認 ルート確認画面を表示(P.68)*4
VICS表示	VICS表示/消去 地図上のVICS情報を全道路表示/消去(P.36) 割込情報 電波・光ビーコンの割込み情報を表示(P.83)
AUDIO	デジタルTV デジタルTVに切換(P.96) HDD MUSIC HDD MUSICに切換(P.106) CD/DVD*5 CD(P.122)・MP3/WMA(P.122)・DVD(P.118)に切換 ラジオ ラジオに切換(P.124) 交通情報 音声のみ交通情報に切換(P.124) SD-Video SDビデオに切換(P.126) SD-Audio SDオーディオに切換(P.127) Bluetooth® Audio Bluetooth Audioに切換(P.130) iPod iPodに切換(P.132) VTR VTRに切換(P.154) PHOTO PHOTOに切換(P.134) 電話をかける ハンズフリー画面を表示(P.144)*6 AUDIO ON / OFF AUDIOをON/OFFにする(P.92)

*1 地図画面が2画面表示のときのみ。
*2 地図モード画面表示のときのみ。
*3 案内音声出力中に変更した場合、変更は次回の案内音声から反映されます。
*4 ルート案内中のみ。
*5 入っているディスクの種類によってランチャーメニューの表示が異なります。
*6 電話帳を登録(P.146)している場合、電話帳が表示されます。(P.145)

本機の設定をアレンジする(ストラダチューン)

- 1 ランチャーメニュー(P.33)から



- 2 設定する→下記

- ルート探索に関する設定→下記
- 音声案内に関する設定→下記
- 地図に関する設定→P.36
- オーディオに関する設定→P.37

ルート (ルート探索に関する設定)

ルートを選ぶ

- 各優先レベルの詳細について→P.72



現在有効な探索設定 お買い上げ時の(グレー表示:無効) 設定に戻す

探索設定画面を表示(P.159)

抜け道優先*1

抜け道を優先して通るレベルを設定する(3段階)

- お買い上げ時の設定: 1(低)

有料道路優先*1

有料道路を優先して通るレベルを設定する(5段階)

- お買い上げ時の設定: 3(中)

休日優先度アップ*1

する: 探索開始日が土・日・祝日*2のとき、有料道路を優先するレベルが上がります。(お買い上げ時の設定)

- しない: 常に設定されたレベルで探索します。

道幅優先*1

広い道を優先して通るレベルを設定する(4段階)

- お買い上げ時の設定: 3(やや広)

*1 ルート案内中に変更すると、ルートを再探索します。

*2 春分の日・秋分の日には対応していません。

ガイダンス (音声案内に関する設定)

ガイダンスを選ぶ



お買い上げ時の設定に戻す

案内設定画面を表示(P.159)

分岐音声案内頻度

分岐点の手前で音声案内する頻度を設定する(3段階)

- お買い上げ時の設定: 3(高)
- 頻度が変わるのは音声のみです。拡大図やレーンリストなどの表示は変わりません。

案内する/しないを設定する

タッチすることにより、する/しないが切り換わります。

- お買い上げ時の設定:
 - ・カーブ案内: する
 - ・合流案内: する
 - ・レーン案内: しない
 - ・踏切案内: しない
 - ・事故多発地点案内: する
- 案内設定画面からも設定できます。(P.160)

お知らせ

- 音声案内について→P.76~77
- 地図上での表示について→P.46

マップ (地図に関する設定)

マップを選ぶ



お買い上げ時の設定に戻す
(ランドマークセレクト、
VICIS表示切替は除く)

地図表示設定画面を表示 (P.161)

地図上のVICIS情報を表示する
道路の種類を切り換える

● 地図上のVICIS情報について→P.48

1 VICIS表示切替を選ぶ

2 表示する道路の種類を選ぶ

- **全道路表示** : 高速道路・一般道路
情報を表示
(お買い上げ時の設定)
- **高速道のみ** : 高速道路情報のみ表示
- **一般道のみ** : 一般道路情報のみ表示
- **表示しない** : VICIS情報を表示しない

地図上に表示するランドマークを選ぶ(ランドマークセレクト)

地図の中心から半径約10 km以内で、近い順に200件まで(複数のランドマーク選択時は、
選択された全てを対象に200件まで)のランドマークを表示します。

● 同一の建物に複数の施設が存在する場合(デパートなど)は、ランドマークが重なって
表示されることがあります。

1 ランドマークセレクトを選ぶ

2 ランドマークを選ぶ(最大5つ)

ランドマークをすべて解除



昼画面/夜画面を選択

昼画面/夜画面を選択する

● 昼画面/夜画面でそれぞれテーマ/道路色/
文字サイズを設定できます。(下記)

テーマ

地図の配色を設定する(4種類)

- **クルージング** :
ルートが見やすい(昼画面のお買い上げ時の設定)
- **タウン** :
街区を色分けし、市街情報をより際立たせる
- **トラフィック** :
VICIS情報が見やすい
- **トワイライト** :
夕暮れや夜間など、暗い車内で見やすい
(夜画面のお買い上げ時の設定)

道路色

道路の色を設定する(4種類)

- お買い上げ時の設定 :
- ・クルージング : B
 - ・タウン : A
 - ・トラフィック : D
 - ・トワイライト : C

文字サイズ

文字の大きさを設定する(4段階)
● お買い上げ時の設定 : 3(やや大)

オーディオ (オーディオに関する設定)

オーディオを選ぶ



お買い上げ時の設定に戻す

音響効果設定画面を表示 (P.163)

お知らせ

● 各設定内容は、音響効果の設定に準じます。内容変更は音響効果設定画面
(P.163~164)から行ってください。

バランス/フェーダー

出力レベルの設定を切り換える(4種類)^{※3}

- : 車内の中央で聞くのに最適な設定
- : 運転席で聞くのに最適な設定
- : 後部座席で聞くのに最適な設定
- **カスタム** : 手動で調整した調整値(P.164)に
設定(お買い上げ時の設定)

※3 エフェクトでSRS CS Auto DX / SRS WOW HDを選択時は設定できません。

エフェクト

エフェクトを切り換える

- **音の匠** :
レコーディングエンジニア集団MIXER'S
LABが監修した音質にする
(お買い上げ時の設定)
- **SRS CS Auto DX/SRS WOW HD^{※1}** :
3次元サラウンド技術「SRS」を使用した
音質にする
- **Space Setting^{※2}** :
特定の音場に切り換える
- **OFF** :
音響効果をOFFにする

※1 リヤスピーカーの接続によって、設定が異
なります。

- ・接続している場合
(4 ch, 4.1 ch, 5 ch, 5.1 ch)
→SRS CS Auto DX
- ・接続していない場合
(2 ch, 2.1 ch, 3 ch, 3.1 ch)
→SRS WOW HD

※2 リヤスピーカーを接続していない場合
(2 ch, 2.1 ch, 3 ch, 3.1 ch)は、切り換
えできません。

イコライザープリセット

好みの音質に切り換える(6種類)^{※3}

- **EQ1~EQ5** :
登録した調整値(P.163)の呼び出し
- **フラット** :
フラットな音質(全ての周波数が±0 dB)
(お買い上げ時の設定)